

# 「甲子園で全カプレー」

## 光星高ナイン 本社訪れ活躍誓う

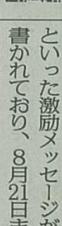
第100回全国高校野球選手権記念青森大会で2年ぶり9度目の優勝を果たした八学光星硬式野球部が27日の飛躍を誓った。

この日は仲井宗基監督、小坂貫志部長、中村良寛教頭、安井基悦協賛会長と青森大会でベンチ入りした選手20人が訪問。たぐさんの社員に拍手で迎えられ、仲井監督と長南佳洋主将が花束を受け取った。



花束を受け取る八学光星硬式野球部の長南佳洋主将(手前)と仲井宗基監督  
=27日、デーリー東北新聞社

デーリー東北  
動画配信中



(金澤千優希)

長南主将は「支えてもらった人への感謝を忘れず、青森県代表として全力でプレーし、全国制覇を目指したい」と意気込んだ。荒瀬社長は「優勝に心からの拍手を送りたい。日頃の成果を発揮し、甲子園球場で伸び伸びとプレーしてほしい」と激励した。

手20人が訪問。たぐさんの社員に拍手で迎えられ、仲井監督と長南佳洋主将が花束を受け取った。本社6階・デーリー東北メディアホールでの荒瀬社長らとの懇談で、仲井監督は今年と2012年夏に準優勝を果たした当時のチームを比べ、「北條(史也・阪神)、田村(龍弘・ロッテ)のように飛び抜けた選手はいないが、総合力は今のチームの方が高い」との評価を示し、「甲子園では機動力も絡めて上位を狙う」と抱負を述べた。

八戸市庁本館前に設置された八学光星ナインを  
激励する看板=27日



### 八戸市、応援看板を設置

八戸市は27日、八学光星硬式野球部の第100回全国高校野球選手権出場を祝うとともに、甲子園での活躍を期待するメッセージを掲げた看板を市庁本館前に設置した。大きさは縦0・9メートル、横90センチ、ユニホームと同じ紺色とえんじ色を用いたデザインで「めざせ全国制覇!」といった激励メッセージが書かれており、8月21日まで掲示予定。

(里村静)